








道内の感染状況等について

【令和3年3月12日】

主な指標の状況

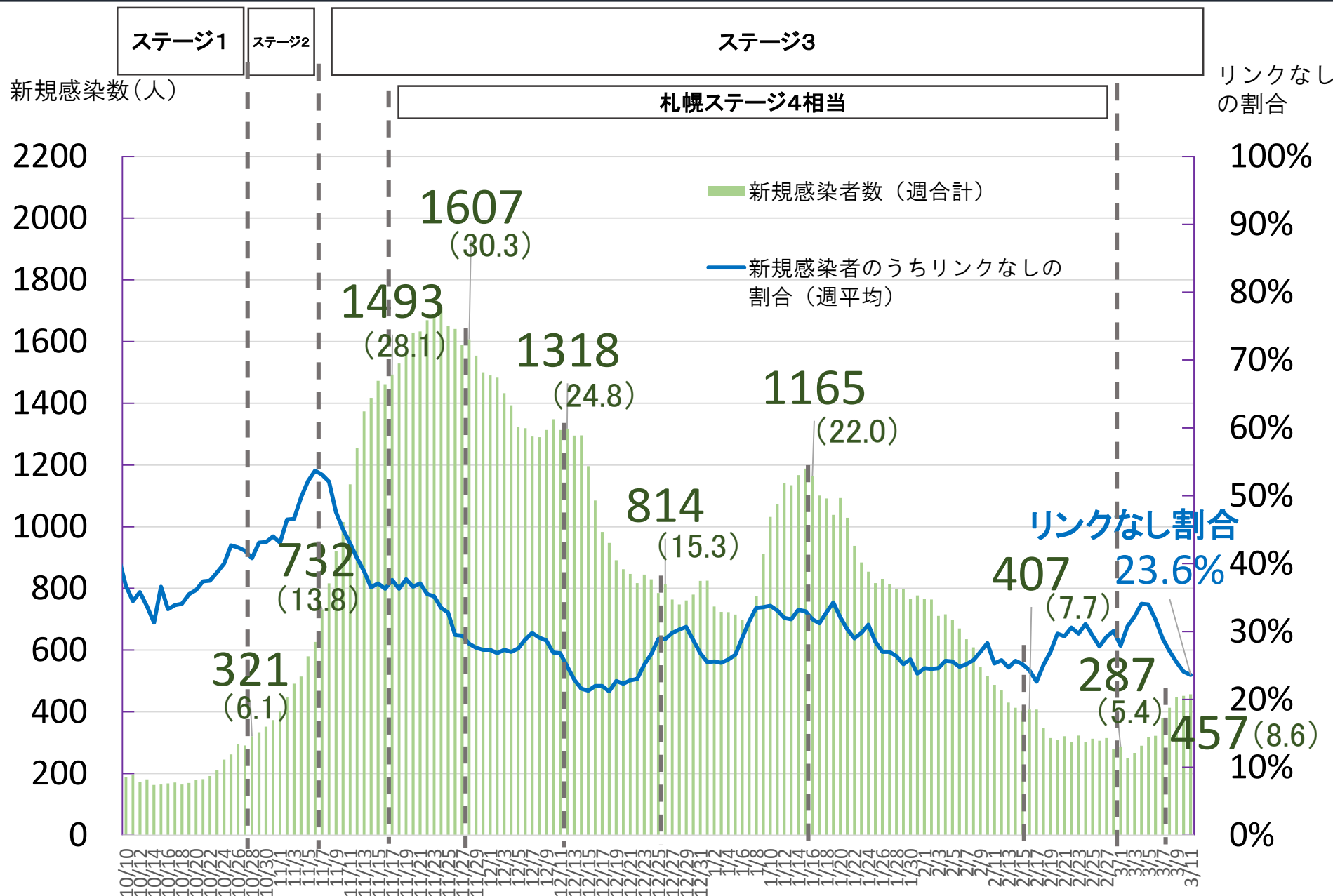
	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染状況		
	病床全体	うち重症者用病床	療養者数	検査陽性率	新規感染者数	先週1週間との比較	感染経路不明割合
全道 (3/11)	359床 	3床 	711人 	2.8% 	457人/週 (8.6人) 	1.58倍 	23.6% 

ステージ4基準	350床	35床	796人	10%	796人/週 (15.0人)	増加	50%
ステージ3基準	250床	25床	増加	増加	133人/週 (2.5人)	増加	50%

※()は10万人あたりの新規感染者数

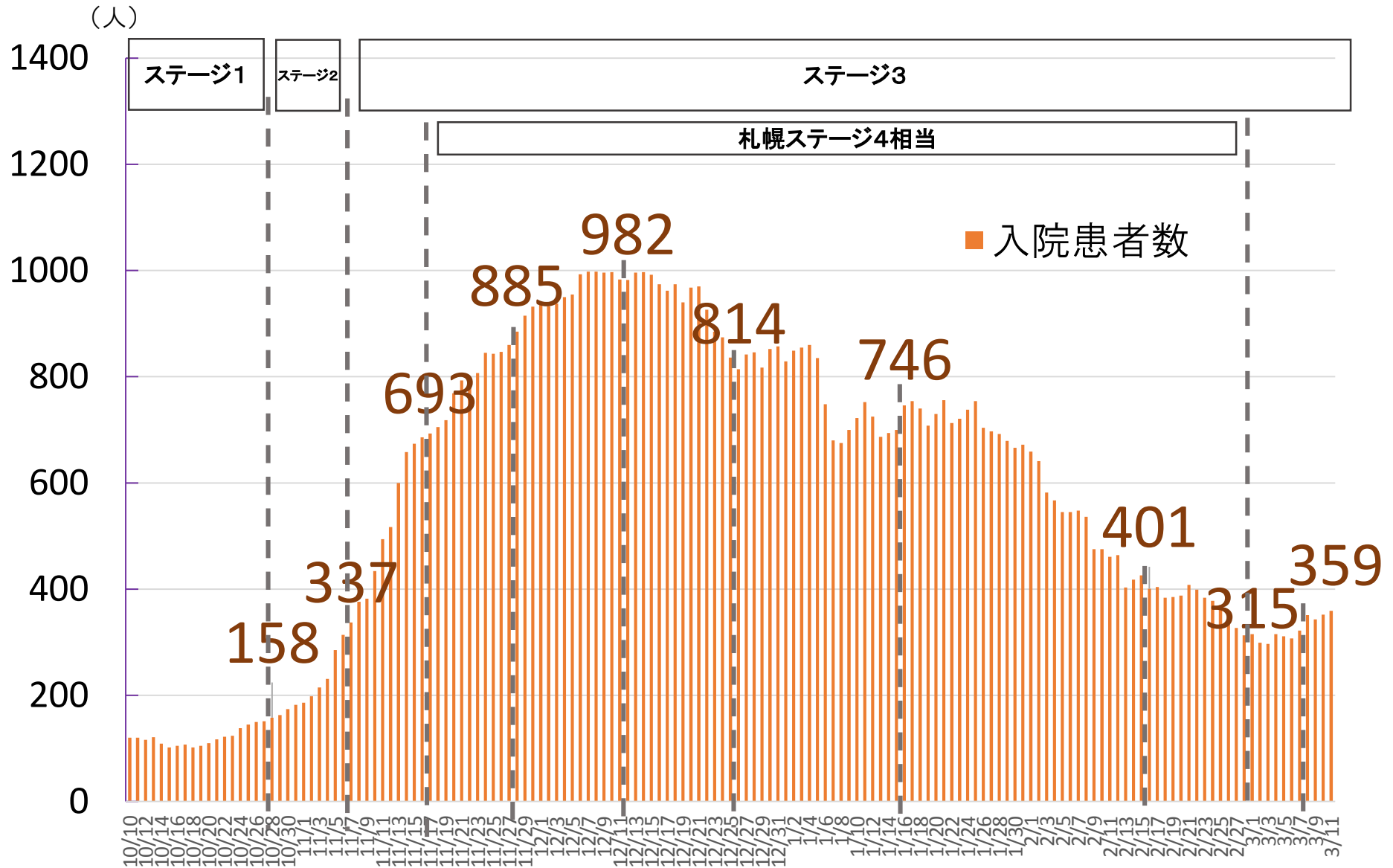
※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

感染状況

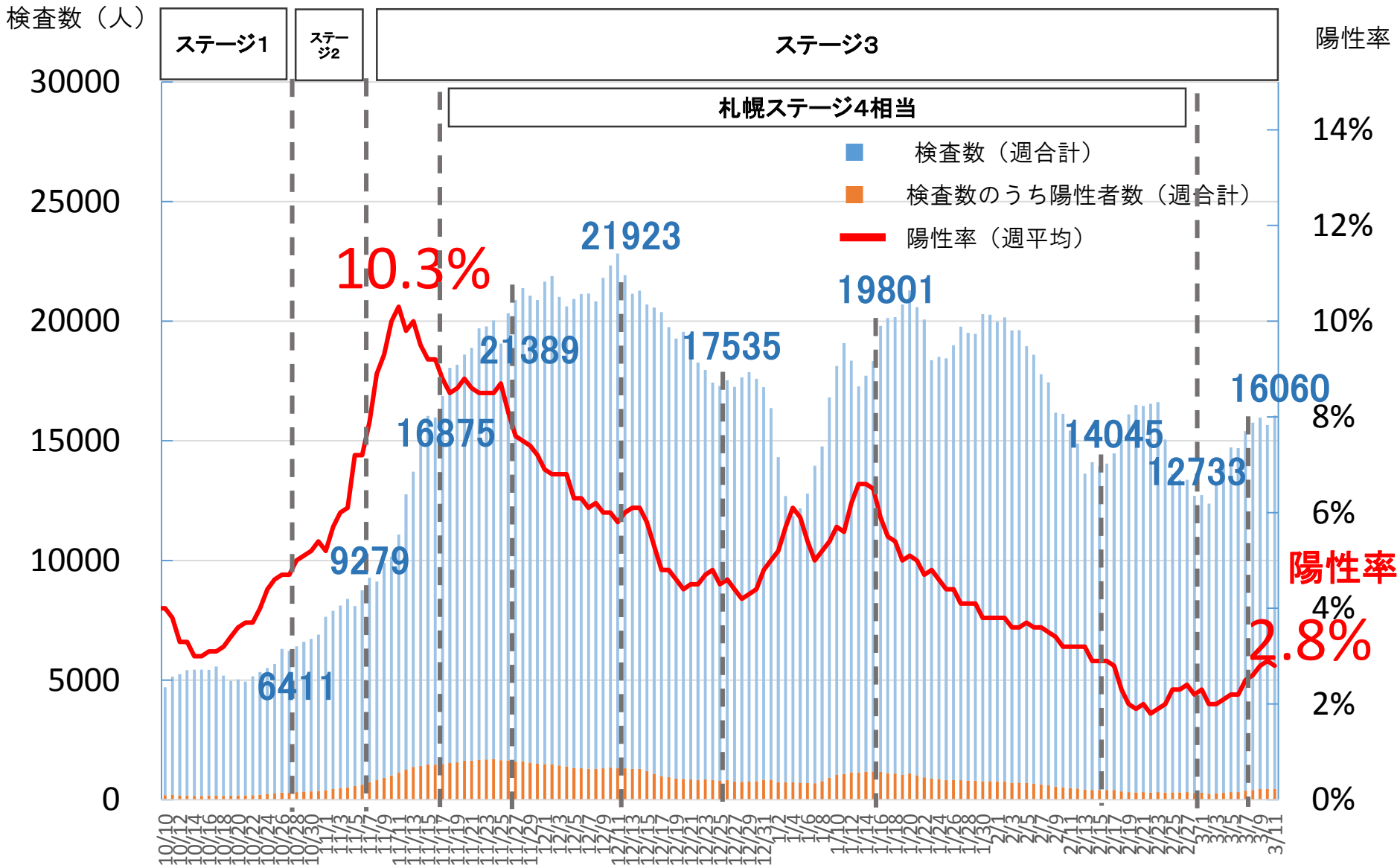


()は10万人当たり人数

医療提供体制等の負荷(病床全体)



監視体制(陽性率と検査数)



地域別の感染状況

	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	道外	合計
2/26 ～ 3/4	2	136	32	10	0	4	0	10	0	0	1	38	50	2	5	290
3/5 ～ 3/11	6	214	23	9	0	8	0	34	0	0	7	95	59	0	2	457

※「居住地」により整理。なお、各保健所設置市が居住地非公表として発表した者は、各振興局等に含めて計上。

集団感染の発生状況

	11月	12月	1月	2月	3月 (3/11まで)
医療施設 福祉施設	47件 (1883人)	45件 (1572人)	26件 (679人)	15件 (290人)	7件 (173人)
事業所等	17件 (220人)	7件 (143人)	10件 (109人)	10件 (103人)	3件 (51人)
学校	11件 (179人)	10件 (202人)	7件 (196人)	3件 (33人)	2件 (23人)
飲食店等	19件 (222人)	7件 (56人)	15件 (174人)	5件 (43人)	2件 (21人)
合 計	94件 (2504人)	69件 (1973人)	58件 (1158人)	33件 (469人)	14件 (268人)

※「飲食店等」には、接待をとまなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

集団感染の発生状況(地域別:3月分)

	件数 (感染者数)	内 訳
札幌市	5件 (73人)	医療施設2件(15人) 事業所等2件(45人) 学校1件(13人)
石 狩	1件 (8人)	医療施設1件(8人)
後 志	2件 (11人)	事業所等1件(6人) 飲食店等1件(5人)
上 川	2件 (26人)	学校1件(10人) 飲食店等1件(16人)
十 勝	1件 (60人)	福祉施設1件(60人)
釧 路	3件 (90人)	医療施設2件(81人) 福祉施設1件(9人)

新型コロナウイルス変異株への対応状況

1 変異株に係るスクリーニング検査の実施状況

期 間	新規陽性者数 (道保健所管内)	スクリーニング検査数 (道衛研実施)	スクリーニング 実施率
2/1-3/7	671	108	16.1%

2 変異株に係るゲノム解析の実施（道衛研実施）

検体数	内 訳	確定判断 (国立感染症研究所)
13 ※既に入院措置実施	札幌市12、小樽市1	英国型の変異株

感染状況の比較

		11月2日	3月11日
新規感染者数	7日間合計 <small>(10万人当たり)</small>	447人(8.4人)	457人(8.6人)
	前週との比較	1.5倍	1.6倍
	札幌市の割合 <small>(札幌市/全道)</small>	73.4% <small>(328人/447人)</small>	39.2% <small>(179人/457人)</small>
陽性率		5.7%	2.8%
感染経路不明	割合	46.5%	23.6%
	実人数	208人	108人
	前週との比較	1.7倍	1.1倍
集団感染	11日間合計	19件、178人 <small>(10/23~11/2)</small>	14件、268人 <small>(3/1~3/11)</small>
	うち飲食店等	13件、119人	2件、21人
	うち医療・福祉施設	2件、11人	7件、173人

総評 ①

【感染状況】

- 3月に入り、石狩、十勝、釧路管内で、医療施設・福祉施設における大規模な集団感染が発生するなど、集団感染が全体の感染者数を押し上げ、全道の新規感染者数は、前週比で7日連続の増加となった。
- 10万人当たりの感染者数は8.6人/週となり、昨年 of 感染拡大の初期段階である11月2日と同水準となっているが、次の点が現在の特徴。
 - ・感染経路不明割合は低い水準で、その実人数も11月の半分程度。
 - ・陽性率も低い水準で、11月の半分程度。
 - ・札幌市での新規感染者の確認が、全道の7割超と突出していた11月に比べ、4割弱と概ね人口比どおりとなっている。
 - ・以上のことから、積極的疫学調査等により、感染者は一定程度捕捉されていると考えられる一方、この間の流行により、全道各地で感染の可能性があるとの想定のもと対応していく必要がある。
- なお、3月10日、道内においても英国型変異株への感染を13例確認。

【医療提供体制】

- 入院患者数は、医療施設における集団感染の発生などにより、先週に比べ増加し、350床前後で推移。重症患者は大幅な増加は見られない。

総 評 ②

【今後の対策】

- 感染者が増加傾向にあり、変異株も確認されていることから、警戒感を高め、次の対策に取り組む。

＜集団感染への対応の徹底＞

- ・ 集団感染により感染者数等の増加が見られることから、感染症広域支援チームを編成し、現地保健所に医師、保健師等を派遣する。
- ・ 早期の抑え込みに向け、現地対策本部の下、積極的疫学調査やPCR検査のほか、感染の拡大が見られる地域においては、感染者が発生していない高齢者施設等の検査などにも取り組む。

＜変異株への対応＞

- ・ 道内でも確認された「変異株」の監視体制を強化し、保健所設置市(札幌市・旭川市・函館市・小樽市)との緊密な連携の下、道立衛生研究所においてスクリーニング検査等を適切に実施する。

＜基本的な感染防止対策の徹底＞

- ・ 感染者が全道各地で確認されていることから、どこでも誰でも感染する可能性があるとの前提に立って、全道域で手洗いやマスクの着用といった基本行動に加え、「黙食」など飲食の場面における感染防止行動の実践といった感染の再拡大防止に向けて取り組む。